

かつてファイバースコープが米国の Hirschowitz によって開発された当初、それまで胃内視鏡のメッカとして君臨した、ドイツの誇り高き胃鏡専門家たちはファイバースコープの将来性を見通す目を持っていなかった。胃鏡に代わる新しい内視鏡として、先見性を以て、その開発に取り組んだわが国が、その後の消化器内視鏡診断学の発達の指導的立場に立ったことは記憶に新しい。電子スコープの誕生は、またしてもその最初の成功は 1983 年米国の Welch-Allyn 社によってもたらされたが、これに注目したわが国のその後の開発のテンポは目覚ましい。いささか鳴り物入りで、はしゃぎ過ぎのきらいはないではないが、これがファイバースコープに代わる、新しい世代の内視鏡として発達する可能性は大きく、展望は開けている。

電子スコープの特性は高解像力、高画質の優れた画像と共に、光信号を電気信号に変換しアナロ

グ画像をデジタル化しうることにある。

それにより画像処理や画像解析を行ったり、光ディスクによる内視鏡画像のファイレインや伝送システムなど、新しい技術分野の開発が期待されて、本特集号でも論じられているとおりである。新しい技術の開発には、既成の観念に捉われない新しい発想が必要である反面、電子スコープが新しい世代の内視鏡として定着するためには、胃鏡、胃カメラからファイバースコープ、更に電子スコープが登場するに至った消化器内視鏡の変遷と発達の歴史に立脚し、現代のファイバースコープ診断の限界と問題点を踏まえた方向付けが必要である。現在広く普及しているパンエンドスコープをもってこと足れりとするような内視鏡観と既成の画像処理のテクニックを接ぎ木するような発想では、単なるお遊びに終わりがかねないのである。

胃と腸

2月号 (第22巻・第2号) 予告

発売予定 2月2日

定 価 1,700 円

主題／陥凹型早期胃癌の深達度診断

序 説	陥凹型早期胃癌の深達度診断……………	関東通信病院	多賀須 幸 男
主 題	病理組織学から見た問題点……………	筑波大・病理	中 村 恭 一
	病理組織学から見た問題点……………		望 月 孝 規
	内視鏡診断—X線診断との対比を含めて……………	虎の門病院	早 川 和 雄
	超音波内視鏡の適応……………	山口大・1内	相 部 剛
	X線診断—特に超音波内視鏡との対比……………	名大・2内	芳 野 純 治
	X線診断—特に良性胃潰瘍との対比……………	福島医大・2内	五十嵐 勤
	胃の部位による相違……………	都がん検診センター	細 井 董 三
座 談 会	陥凹型早期胃癌の深達度診断……………	福岡大学筑紫病院	八尾 恒良・他
初心者講座	大腸検査法(2) 肛門・直腸病変の診方……………	社保中央病院	岩 垂 純 一
病理学講座	新鮮切除標本の取り扱い方……………	癌研病院・外	高木 国夫・他

胃と腸 (第22巻 第1号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1987年1月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,700円(配送料80円)

年ぎめ予約購読料19,080円(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1987, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当)長谷川・窪田・大竹